

令和3年度学校自己評価システムシート（県立岩槻商業高等学校）

目指す学校像	確かな専門性と良識を持った職業人を地域とともに育む
--------	---------------------------

重点目標	1 確かな学力を定着させ、専門性を高め、経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。 2 規範意識の醸成を図り、豊かな心と健やかな体を育成する。 3 保護者や地域と連携・協働し、地域の学校として信頼される教育活動を実践する。 4 生徒の多様な進路希望の実現を目指し、キャリア教育の視点に立った進路指導を実践する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (1 月 2 7 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 2 7 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>〔現状〕学び直しや資格取得の学習及び指導は定着しており、生徒の学習意欲も向上傾向にある。</p> <p>〔課題〕指導と評価の一体化に重点を置き、指導の質を高めるために、観点別評価による学習評価を適切に推進する必要がある。</p>	<p>指導と評価の一体化を基盤とした協調学習やICT活用を推進して分かる授業を行う。</p> <p>生徒の資格取得を推奨し、目標とする検定に合格させる。</p>	<p>①協調学習を中心とした授業研究による指導力の向上</p> <p>②ICTを活用した分かる授業の実践</p> <p>①教科・科目の目的や内容に即した資格取得指導の実施</p> <p>②上位資格取得指導の実施</p>	<p>①研究授業の実施回数</p> <p>②ICT活用頻度</p> <p>①②観点別評価の実施状況</p> <p>①埼玉県高校生専門資格等取得表彰の表彰率7割以上</p> <p>②上位資格合格者の増加</p>	<p>【概ね達成した】</p> <p>①計19時間の授業研究を実施した。</p> <p>②全教科でICTを積極的に活用し、指導力向上に努めた。</p> <p>①②保健体育科での実践を検証し、全教科で観点別評価を推進した。</p> <p>【概ね達成した】</p> <p>①3年生の申請者計106名(66.7%)、昨年度比3.7point↑</p> <p>②ITパスポートに1名が合格した。全商三種目1級合格者に2名が表彰された。</p>	B	<p>○課題発見・解決能力を育成する教育プログラムを考え、実践する。</p> <p>○個人端末を活用した学習を進める。</p> <p>○新学習指導要領における観点別評価による学習評価の定着化を図る。</p> <p>○専門資格等取得表彰の奨励とともに、校内における顕彰制度によって生徒の学習意欲向上に努める。</p> <p>○習熟度別の検定指導を実践する。</p>
2	<p>〔現状〕生徒の身嗜みやチャイム着席等、基本的な生活習慣は定着している。感染防止対策を徹底しており、安心保障に努めている。</p> <p>〔課題〕自転車等による事故や人間関係による行き違い等のトラブルの未然防止が求められる。</p>	<p>生徒の人間力(知的能力、社会・対人関係力、自己制御)を高める指導を行う。</p> <p>安全・安心な学校生活を実現する。</p>	<p>①社会人としての観点による生活指導の実践</p> <p>②部活動実績や生徒の様々な活動を奨励する指導の実施</p> <p>①交通安全巡回指導、いじめ防止の組織的指導の実施</p> <p>②感染防止対策の徹底、防災・安全対策指導の充実</p>	<p>①学校生活アンケートの指標上昇</p> <p>②部活動実績や生徒の活躍の状況</p> <p>①交通事故件数の減少、いじめ問題等への取組状況</p> <p>②感染防止対策の状況、防災・安全対策指導の状況</p>	<p>【ほぼ達成した】</p> <p>①社会人としての心構え等を、組織的・継続的に指導し、挨拶・言葉遣い・校則遵守において、昨年度より達成割合が上昇した。</p> <p>②ソフトテニス部が新人戦埼玉県大会で団体ベスト8・個人ベスト16となった。</p> <p>【ほぼ達成した】</p> <p>①交通事故(11件)は増加したが、人間関係トラブルは早期解決できた。</p> <p>②清掃、消毒・検温等の感染防止対策徹底、AED講習会、献血を実施した。</p>	A	<p>○校内の規定やルール等の見直しを行うとともに、生徒たちの自主的な活動を支援する。</p> <p>○部活動の活性化を目的とした再編整備を引き続き検討する。</p> <p>○生徒間のいじめ問題が発生しないように、新型コロナウイルス等の校内感染が起ころぬように、引き続き組織的な防止対策を徹底する。</p>
3	<p>〔現状〕昨年度は感染拡大防止の観点から、学校説明会等の回数・規模等を縮小した。行事公開や地域等との交流も多くを中止した。</p> <p>〔課題〕コロナ禍における積極的な情報発信、地域貢献の取組等を検討する必要がある。</p>	<p>状況に応じた広報活動を実践する。</p> <p>地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する。</p>	<p>①学校説明会等の工夫・改善</p> <p>②学校ホームページ上による情報提供の充実</p> <p>①「未来の職業人材育成事業」等による外部教育力活用</p> <p>②地域貢献の企画提案・実践</p>	<p>①感染防止対策を徹底した上での参加者数増加</p> <p>②アクセス数増加</p> <p>①②本校への志願倍率上昇</p> <p>①外部指導力の活用状況、新たな取組の実践状況</p> <p>②地域貢献の実践状況</p>	<p>【概ね達成した】</p> <p>①説明会では生徒が活躍できる機会を設け、参加者が増加した。(6.4point↑)</p> <p>②アクセス数916,500件(1月まで)</p> <p>①②進路希望調査減少(2.5point↓)</p> <p>【概ね達成した】</p> <p>①昨年度に引き続き、藤宮製菓、新井人形店より、授業での指導を得た。</p> <p>②外部活動を自粛したが、各種行事で外部講師の活用を積極的に実施した。</p>	B	<p>○説明会の実施時期・内容等を再検討するとともに、戦略的な広報活動を実践する。</p> <p>○本校の強み(生徒)を活かした情報発信を考え、実践する。</p> <p>○保護者や地域と連携・協働する取組を考え、実践する。</p> <p>○新型コロナウイルスが終息しない状況でも貢献できる活動を考える。</p>
4	<p>〔現状〕例年、就職内定率100%を実現している。昨年度は校外での活動(バス見学会、インターシップ等)の実施を見送り、校内での進路指導のみを行った。</p> <p>〔課題〕キャリア・パスポート、eポートフォリオ等を活用した、継続的かつ体系的なキャリア教育の充実を図る必要がある。</p>	<p>生徒の進路希望の実現と進路意識を向上させる。</p>	<p>①1年生は、中学校からのキャリア・パスポートを継続かつ発展させる指導の実施</p> <p>②2年生は、総合的な探究の時間を中心としたキャリア教育の実施</p> <p>③3年生は、具体的な進路実現に向けた、個に応じた進路指導の実施</p>	<p>①キャリア・パスポートを活用した指導の実践回数等(目標、月1回以上)</p> <p>②総合的な探究の時間の指導内容の充実度上昇</p> <p>③進路実現率、進路指導に対する「満足度」状況</p>	<p>【ほぼ達成した】</p> <p>①キャリア・パスポートを学校行事等の計画や振り返り等に活用し、毎学期2回(合計6回)の指導を実践した。</p> <p>②インターシップは中止としたが、外部講師による講演会やオンラインによる説明会等を計8回実施した。生徒たちに主体的に考える機会を昨年度より多く、5回設定した。</p> <p>③ほぼ全員が、進路実現した(1月末現在)。満足度93.5%(2.2point↑)</p>	A	<p>○高校3年間の計画的・継続的なキャリア教育を見直し、再構築する。そのためにも、キャリア・パスポートやeポートフォリオの効果的な活用方法を考え、実践する。</p> <p>○「総合的な探究の時間」及び「課題研究」において、教科横断的な指導方法の検討を進める。</p> <p>○進路実現だけを目的としない進路指導、社会(就職先や進学先等)で活躍できる人材育成プログラムを構築していく。</p>

学校関係者評価	実施日 令和4年2月18日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>◇授業ではディスカッションの機会を多く設定して欲しいと思う。コミュニケーション障害解消、社会に出てから意見を言える人材を育てることもつながると考える。</p> <p>◇目標とする検定に合格するなど、達成度の向上が学校の評価につながるため、引き続き積極的な指導を期待する。</p> <p>◇保護者としては、生徒たちの資格取得を保障するためにも、補習の強化をお願いしたい。</p> <p>◇コロナ禍で、出席を控えなければならない場合もあったが、今年度は昨年度よりも、生徒の欠席が多くなっていると感じた。</p> <p>◇スマホやケータイはとても便利だが、その弊害は大きいものと認識している。高校生の発達段階にふさわしい指導の在り方に関心がある。</p> <p>◇いじめ等のトラブル防止のためにも、生徒同士が触れ合う機会が減ったり、集団行動のイベントが中止とならないように取組んでほしい。</p> <p>◇感染防止対策は、生徒によって取組の度合いが異なるように感じた。</p> <p>◇受検生(中学生)の利用状況から、学校ホームページの充実は今後もますます重要となる。</p> <p>◇体育祭や文化祭の動画を学校ホームページで見ることができて、保護者として嬉しかった。</p> <p>◇この地域には複数の教育的資源がある。より一層この地域ならではの特性等を生かした教育プログラムが展開されることを期待している。</p> <p>◇生徒たち主体で検討して、地域貢献に取り組むことを考えてもよいのではないかと。</p> <p>◇インターシップが実施できないことは残念である。しかし、実際の職場のみならず職種への内容を理解し、適性を見極める手段は他にもあり、学習方法の工夫が必要だと思う。</p> <p>◇保護者としては、生徒たちの進路実現を考えた場合、面接練習の強化をお願いしたい。</p> <p>◇生徒個人に合った進路指導をさらに推進し、特に就職は早期退職とならない指導を望む。</p> <p>◇進学した専門学校卒業後に四年制大学への編入を考えるなど、高校卒業後よりも先の中長期的な視野での進路指導に期待する。</p>